

令和4年度  
事業報告  
及び  
附属明細書



社会福祉法人

大津市社会福祉事業団

# 令和4年度事業報告及び附属明細書 目次

○事業報告	・・・・・・・・	1頁
・事業報告書【総括】	・・・・・・・・	1頁
・評議員、役員名簿等	・・・・・・・・	4頁
・組織図	・・・・・・・・	10頁
・本部	・・・・・・・・	11頁
・老人福祉センター	・・・・・・・・	18頁
・デイサービスセンター	・・・・・・・・	20頁
・ホームヘルプサービス事業	・・・・・・・・	21頁
・障害者相談支援事業	・・・・・・・・	23頁
・特別養護老人ホーム榛原の里	・・・・・・・・	24頁
・さがみ川老人憩の家運営事業	・・・・・・・・	27頁
・ふれあいプラザ	・・・・・・・・	28頁
・介護員養成研修事業	・・・・・・・・	29頁
・木戸交流センター	・・・・・・・・	30頁
・居宅介護支援事業	・・・・・・・・	31頁
・地域包括支援センター	・・・・・・・・	33頁
○事業報告の附属明細書	・・・・・・・・	35頁
・社会福祉充実残額算定シート	・・・・・・・・	36頁

## 令和4年度事業報告書

### 【総括】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の夏場の第7波、冬場の第8波で感染が拡大する状況となった。このことで事業団においても、老人福祉センター併設のデイサービス、デイサービスセンター、及び榛原の里では、クラスター等の発生により複数回に及んで事業所を一時休止せざるをえなくなった。ご利用者も感染への不安等から利用控え等が増加し、さらには事業の制限や中止に追い込まれたことなどから、事業団の運営にも大きく影響するに至った。

また、事業運営に欠かせない人材確保についても、退職者が相次ぐ中、求人を行っても応募が少なく、人材を採用するまでに時間を要するなど、必要人員を確保できない状況となり、事業運営に支障をきたした。近年は、介護人材不足による、このような状況が常態化してきている。

このように、厳しい外部環境の中で、令和3年度に計上した7,200万円余りの赤字を改善するため、令和4年度は、「経営改革会議」を毎月開催し、令和4年10月からは出資者の立場から経営状況について忌憚のない意見、助言を得るため、大津市からも出席をいただいた。

経営改革会議では、事業所ごとの利用者数や入所者数等を目標管理項目に設定した実績管理シートを活用し、毎月の事業実績の見える化を図るとともに、具体的な取組目標を数値化し、進捗を管理することで、何が達成でき、何が達成できなかったのか要因分析を行い、次月からの取り組みへとつなげた。必要な場合には抜本的な見直し等を含めた検討も進め、経営改革に向けた意識改革と合わせて収支改善を目指し取り組んでいくこととした。なお、この実績管理シートを導入したこともあり、令和3年度は赤字であったホームヘルプサービス事業の収支が、大きく黒字に転換し、居宅介護支援事業所においても、一人当たりの担当件数の増に伴い収支が改善された。

その他に介護職員確保を促進するため、在職する職員が、事業団に就労を希望する人材を紹介する「社会福祉法人大津市社会福祉事業団職員紹介制度」を制定し、人材を確保すべく制度を整えた。

さらに、年度末には、早期の経営改善に向けて、赤字の社会福祉法人に必要とされる「人

件費率」及び「経費率」の削減はもとより、高齢福祉分野以外で福祉ニーズの高い障害福祉分野へのさらなる進出により収益確保を目指すことなど、今後の施策展開に盛り込んだ「経営改善計画」を策定した。

また、人材確保のための新たな取組みとして、福祉経験者の応募を待つだけでなく、介護の知識、経験がない方でも正規職員として採用し、介護職員養成研修を受講することでスキルアップを行い、幅広い福祉分野に対応できる人材を自前で育成する制度設計を行った。この採用については、拠点限定ではなく、適材適所に対応した柔軟な人材登用を可能にする組織づくりを進めていくものである。

一方、榛原の里においては、慢性的な介護職員不足のため入所者の受入れを制限し、計画的な空床設定を行ったが、入所者及び職員においても、新型コロナウイルス感染症の罹患者が増加したため、入所者の確保がさらに困難な状況となった。また、年間をとおして、入所者よりも死亡や入院による退所者の方が多くなり、入所者数は減となった。このことから、年度末には、夜勤体制の効率的な運用方法について検討し、空床を作らずとも現員で対応可能な方法を試行させ、新年度に繋いだ。今後は、待機者管理の強化と入所までの日数短縮について検討を行うことで稼働率向上を図る。

令和4年度の施設整備費については、2,300万円余りとなり、大津市からの整備に対する2,000万円の補助金は令和5年度で終了する。しかし、過去5年間の整備費の平均額が約3,000万円であること、さらに建設から30年を超える施設であることから、令和6年度以降の整備費の早期確保が課題である。

次に大津市から指定管理業務を受託し、令和4年度で指定期間が終了する施設については、5か所の老人福祉センターが令和5年度の1年間、木戸デイサービスセンター及び木戸交流センターが令和5年度から令和7年度までの3年間、それぞれ事業団が引き続き指定管理者として選定された。

老人福祉センターについては、大津市が多様化する高齢者ニーズに応えるため、健康寿命の更なる延伸に向けて、健康づくりの拠点施設として、令和5年度から毎年1か所ずつ機能の充実を図るため改装される。主な改装は、高齢者の健康増進フレイル予防のための、運動器具等を設置し、浴室をシャワー室に転用することが予定されており、それに伴い一般入浴事業と併設のデイサービスは順次終了する。そのため今後の指定管理業務の受託を目指して、新たに実施する事業内容及び現職員の配置転換等について事前の分析、検討を始めた。

新型コロナウイルスの感染拡大という大きな外的要因があるものの、事業団の決算が元年度より3年連続で赤字が拡大したことから、4年度は年度末の経営改善計画の策定までの対症療法による収支の抑制策として、賞与支給の大幅な減額を行った。このことにより、約4,400万円の支出を抑制し、さらにデイサービスにおいては、年度途中で退職者が出た場合、人員補充を制限するなど、可能な限りの支出の抑制に努めたが、折からの原油価格高騰による水光熱費の増額もあり、令和4年度は3,900万円の赤字となった。今後この赤字の状況を、早期に改善させる必要があり、年度末に策定した事業団の経営改善計画のキーポイントである、

- ① 「人件費率」及び「経費率」の削減
- ② 障害福祉サービスへのさらなる進出
- ③ 具体的な行動計画に示す榛原の里（長期・短期）及びデイサービスの稼働率の向上等について、抜本的な改革チームを結成し、今年度策定した経営改善計画に基づき実践することで、常に利用者のニーズに応え信頼を得られるよう努めていくとともに、安定経営を目指していく。

## 【評議員・役員名簿等】

### 1 評 議 員

(令和5年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 等	就 任 年 月 日
野 口 真 一	公認会計士・税理士	令和3年6月29日
竹 内 俊 彦	社会福祉法人大津市社会福祉協議会会長	令和3年6月29日
松 田 輝 男	大津市老人クラブ連合会会長	令和3年6月29日
重 永 博	大津市医師会会長	令和3年6月29日
佐 竹 扶 佐	大津市民生委員児童委員協議会連合会副会長	令和5年3月17日
松 田 哲 男	社会福祉法人滋賀同仁会養護老人ホーム大津老人ホーム施設長	令和3年6月29日
内 田 一 成	大津市総務部長	令和4年6月8日

(定員7名)

### 2 役 員

(令和5年3月31日現在)

#### (1) 理 事

役 職 名	氏 名	職 名	就 任 年 月 日
理 事 長	西 村 和 利	大津市社会福祉事業団専任理事	令和4年4月1日
副 理 事 長	小 野 昌 幸	大津市健康保険部長	令和4年4月1日
理 事	石 塚 吉 輝	榛原の里利用者家族会代表	令和3年6月29日
	嶽 山 昌 子	大津市健康推進連絡協議会副会長	令和4年4月1日
	江 隅 定 雄	特別養護老人ホーム榛原の里所長	令和3年6月29日
	塩 見 弥 奈	滋賀県ホームヘルパー協議会会長	令和3年6月29日

(定員6名)

#### (2) 監 事

役 職 名	氏 名	職 名	就 任 年 月 日
監 事	服 部 彰	晴嵐学区社会福祉協議会事務局	令和3年6月29日
	玉 井 泰 子	大津市職員互助会交流室	令和3年6月29日

(定員2名)

### 3 評議員会

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付議事項	議事結果
第1回	令和4年6月28日	議案第1号	令和3年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団の計算書類等の承認について	承認
第2回	令和4年11月21日	議案第2号	令和4年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第1次）について	同意
第3回	令和5年3月28日	議案第3号	令和4年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第2次）について	同意
		議案第4号	令和5年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団事業計画及び予算について	同意
		報告事項	社会福祉法人大津市社会福祉事業団の経営改善計画（令和5年度～令和7年度）の策定について	

### 4 理事会

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付議事項	議事結果
第1回	令和4年4月1日	議案第1号	理事長の選任及び副理事長の指名について	同意
第2回	令和4年6月8日	議案第2号	令和3年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団の事業報告及び決算の承認について	承認
		議案第3号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団職員紹介制度規程の制定について	同意
		議案第4号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団給与規程の一部改正について	同意
		議案第5号	評議員の推薦候補者について	同意
		議案第6号	令和4年度第1回定時評議員会の招集について	同意
		報告事項	・令和3年度社会福祉法人等指導監査（書面監査）の結果について ・令和3年度大津市包括外部監査（実地監査）の結果について	
第3回	令和4年11月10日	議案第7号	令和4年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第1次）について	同意
		議案第8号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団育児休業等に関する規程の一部改正について	同意

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付 議 事 項	議事結果
		議案第9号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団経理規程の一部改正について	同 意
		議案第10号	令和4年度第2回評議員会の招集について	同 意
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の職務執行状況の報告について</li> <li>・ 令和4年度12月賞与について</li> <li>・ 令和4年度社会福祉法人指導監査の結果について</li> </ul>	/
第4回	令和5年3月17日	議案第11号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団事務決裁規程の一部改正について	同 意
		議案第12号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団印章規程の一部改正について	同 意
		議案第13号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団職員紹介制度規程の一部改正について	同 意
		議案第14号	積立金の取崩及び積立について	同 意
		議案第15号	役員等賠償責任保険の契約締結について	同 意
		議案第16号	令和4年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第2次）について	同 意
		議案第17号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団の経営改善計画（令和5年度～令和7年度）の策定について	同 意
		議案第18号	令和5年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団事業計画及び予算について	同 意
		議案第19号	評議員の候補者の推薦について	同 意
		議案第20号	令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について	同 意
		議案第21号	施設長の任免について	同 意
		議案第22号	令和4年度第3回評議員会の招集について	同 意
		報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人等指導監査（実地監査）結果報告について</li> <li>・ 理事長の職務執行状況の報告について</li> </ul>	/



## 5 監事監査

監査種別	執行期日	主な監査項目
決算監査	令和4年5月30日	令和3年度事業実施状況 令和3年度収支決算状況
半期監査	令和4年10月31日	令和4年度上半期事業実施状況 令和4年度上半期収支状況

## 6 加入団体（抜粋）

(1) 独立行政法人 福祉医療機構		(2) 社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会	
加入年月日	平成5年4月1日	入会年月日	平成5年4月1日
共済契約者番号	250154	会員番号	432
社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入のため		年金共済加入と情報交換等のため	

## 7 事業団施設の種別・名称及び所在地

(令和5年3月31日現在)

種 別	名 称	所 在 地	
主たる事務所	本部事務局	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)9552
老人福祉センター	大津市立木戸老人福祉センター	大津市木戸58番地	☎(592)1133
	大津市立北老人福祉センター	大津市今堅田二丁目4番1号	☎(573)7123
	大津市立中老人福祉センター	大津市打出浜1番5号	☎(526)2752
	大津市立南老人福祉センター	大津市南郷一丁目14番30号	☎(537)7417
	大津市立東老人福祉センター	大津市玉野浦6番33号	☎(545)5970
老人デイサービスセンター	大津市立木戸デイサービスセンター	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	唐崎デイサービスセンター	大津市唐崎三丁目17番35号	☎(578)6488
	晴嵐デイサービスセンター	大津市北大路一丁目9番2号	☎(537)3909
ヘルパーステーション	真野ヘルパーステーション	大津市真野四丁目24番38号	☎(573)7814
	比叡すこやかヘルパーステーション	大津市坂本六丁目1番11号	☎(578)8330
	中すこやかヘルパーステーション	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)1295
	膳所すこやかヘルパーステーション	大津市膳所二丁目5番5号	☎(522)1304
	南すこやかヘルパーステーション	大津市南郷一丁目14番30号	☎(534)0319
	瀬田すこやかヘルパーステーション	大津市三大寺8-D3-101	☎(545)0301
居宅介護支援事業所	木戸障害相談・居宅介護支援事業所	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	真野居宅介護支援事業所	大津市真野四丁目24番38号	☎(573)9905
	比叡すこやか居宅介護支援事業所	大津市坂本六丁目1番11号	☎(572)7768
	中すこやか居宅介護支援事業所	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(536)6449
	瀬田すこやか居宅介護支援事業所	大津市三大寺8-D3-101	☎(548)6068
地域包括支援センター	真野地域包括支援センター	大津市真野四丁目24番38号	☎(573)1521
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム榛原の里	大津市真野普門三丁目1120番地	☎(573)9901
その他施設	大津市ふれあいプラザ	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)8351
	大津市木戸交流センター	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	大津市立さがみ川老人憩いの家	大津市膳所二丁目5番5号	☎(525)6211

\*特別養護老人ホーム榛原の里については、平成23年4月1日 大津市から建物の無償譲渡を受け、事業団所有として、所有権移転登記を完了した。

なお、土地は大津市（一部民間所有者）からの有償による借地である。

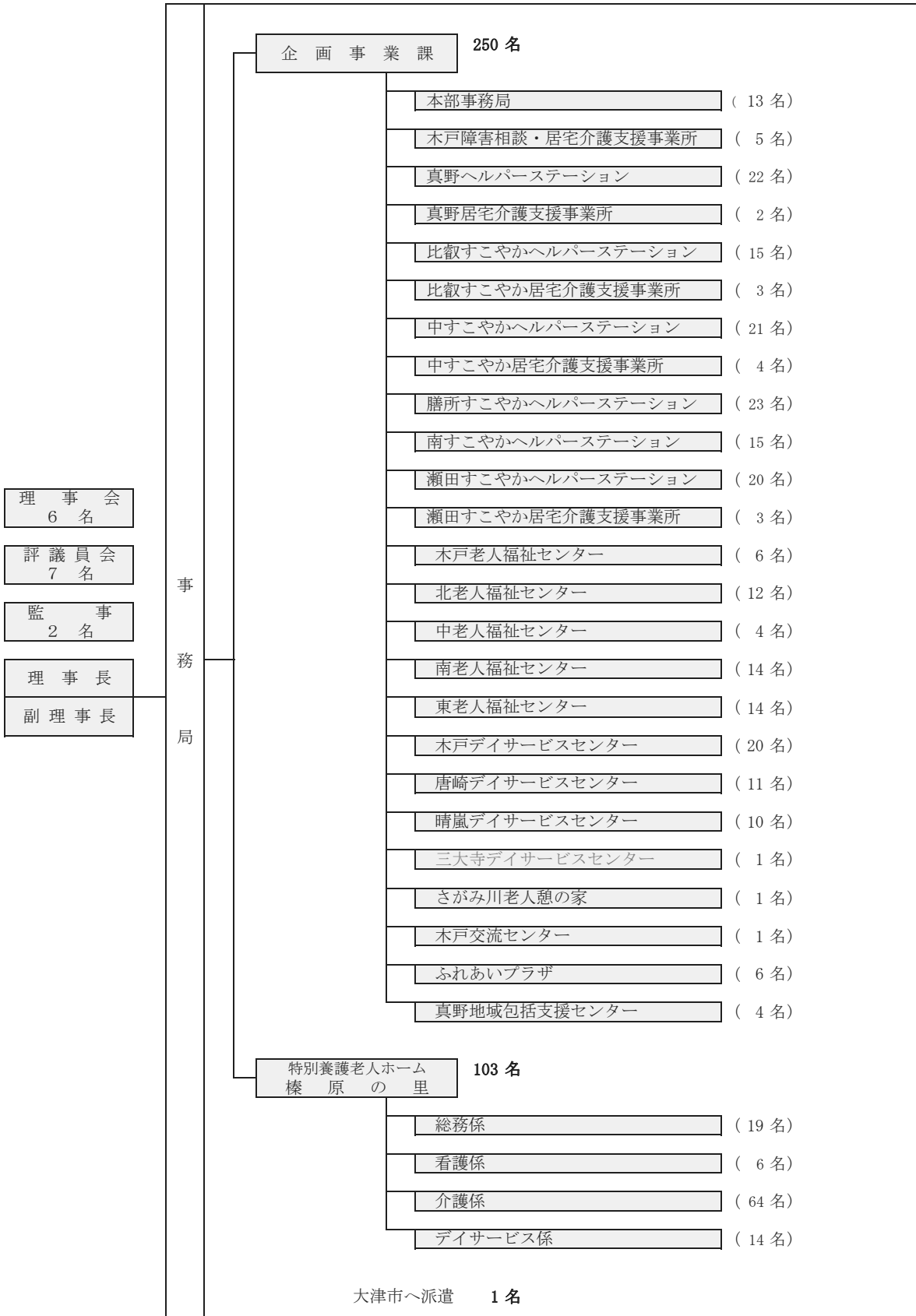
建物の種類・構造・床面積等

・鉄筋コンクリート・鉄骨造3階建 6,175.43 m<sup>2</sup> ・倉庫、車庫 鉄骨造平屋建 102.00 m<sup>2</sup>

# 社会福祉法人大津市社会福祉事業団組織図

理事長 西村 和利  
平成5年2月1日設立

令和5年3月31日現在



職員内訳	正規職員	99名	(企画事業課6名、訪問介護27名、居宅・包括17名 椋原の里48名、大津市派遣1名)
	嘱託職員	52名	
	契約職員	116名	
	パートヘルパー	87名	
	年休対応職員	10名	
	嘱託医・産業医	8名	
	合計	372名	

**【本 部】**

事業団本部事務局では、社会福祉法人としての適正な業務管理体制の維持・改善に努めるとともに、介護・福祉サービス事業者としての存在価値を高め持続的発展を図るため、中期計画に基づく改革プロジェクトを実施した。さらには、事業団における収益性の回復に向けた取組みとして、新たに経営改革会議を立ち上げ、経営の抜本的改革を推進していくこととなった。

また、事業団のこの先、中期に渡り現在の事業団の体質を改善する目的で、新たな緊急的な特別計画として「経営改善計画」を策定し、地域貢献、リスクの分散及び収益の確保へ繋げていく。

1. 業務管理体制の状況

(1) 契約審査委員会

一定額以上の工事・修繕や業務委託、物品の購入やリース契約等にあたっては、契約審査委員会にて入札案件の仕様書や随意契約業者の選定等について審査を行い、適正な業務執行を図った。

契約審査委員会 開催実績	
令和4年度開催状況	開催回数 8回 審査件数 延べ26件
主な審査案件名	① 自動火災報知機設備受信更新工事 (契約金額 約 9百万円) ② 受変電設備更新工事 (契約総額 約 8百万円) ③ 別館全熱交換式換気装置更新工事 (契約総額 約 7百万円) ④ 施設清掃業務一般競争入札業者選定 他

(2) 安全衛生委員会

職員の健康管理と職場での労働災害の防止を目的に安全衛生活動として、職場点検・労働災害再発防止の検討を行った。

開催期日	安全衛生推進事業の内容等						
令和4年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度定期健康診断の実施 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> </tr> <tr> <td>347人</td> <td>332人</td> <td>95.6%</td> </tr> </table> </li> <li>榛原の里ストレスチェックの実施</li> </ul>	対象者	受診者	受診率	347人	332人	95.6%
対象者	受診者	受診率					
347人	332人	95.6%					
令和4年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第1回安全衛生委員会開催</li> </ul>						
令和4年10月、11月 及び令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>B型肝炎予防接種の実施(年3回) ※対象者のうち希望者10名</li> </ul>						
令和4年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザ予防接種助成</li> </ul>						
令和5年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所職場点検の実施</li> </ul>						
令和5年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第2回安全衛生委員会開催</li> </ul>						
令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>深夜業健診の実施(榛原の里)対象者41名</li> </ul>						
令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場巡視(大津市立北老人福祉センター)</li> </ul>						
	産業医、保健師による面談及び相談						

## 2. 経営改革会議

令和3年度の収支状況（第1次補正）の結果を受け、事業団における収益性の回復に向けた取り組み等、法人全体が一体となって協議・検討していくための場として新たに経営改革会議を立ち上げた。令和4年度においては、事業団全体の経営状況や実績管理シートを用いた事業部門別あるいは事業所別の実績管理をはじめ、介護人材不足に対応すべく介護人材確保に向けた新たな取り組みとして職員紹介制度を制定し運用を始めたところである。

また、現在の事業団の体質を改善する目的で、新たな緊急的な特別計画として「経営改善計画」を策定し、令和5年4月以降においては定められた数値目標及び計画に基づき運営を行っていく。

尚、経営改革会議については、令和4年10月開催より大津市からも出席いただき、連携の強化を図っている。令和4年度に開催された会議等について、下記のとおり報告する。

経営改革関連会議等 開催実績		
会議名称	開催日	主な議事
事務局会議①	令和4年 4月13日	・令和4年度第1回経営改革会議協議内容について
経営改革会議①	令和4年 4月18日	・法人全体の現況報告及び令和3年度振返り（実績共有） ・第Ⅲ期中期計画進捗状況確認及び年度の予定について ・今後の会議の運営について ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況 ・今後実施すべき内容の確認
事務局会議②	令和4年 5月18日	・令和4年度第2回経営改革会議協議内容について
経営改革会議②	令和4年 5月20日 (分科会)	・法人全体の現況報告及び令和4年度4月実績、取り組み内容 ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況について
事務局会議③	令和4年 6月14日	・令和4年度第3回経営改革会議協議内容について
経営改革会議③	令和4年 6月18日 (分科会)	・法人全体の現況報告及び令和4年5月実績、取り組み内容 ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況について ・SWOT分析結果の活用について
事務局会議④	令和4年 7月13日	・令和4年度第4回経営改革会議協議内容について
経営改革会議④	令和4年 2月18日 (分科会)	・法人全体の現況報告及び令和4年6月実績、取り組み内容 ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況について ・事業所毎の「強み」の継続「弱み」の改善に向けて
経営改革会議⑤	令和4年 8月19日	・法人全体の現況報告及び令和4年7月実績、取り組み内容 ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況について ・今後協議すべき内容について
経営改革会議⑥	令和4年 9月27日 (分科会)	・法人全体の現況報告及び令和4年8月実績、取り組み内容 ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況について ・榛原の里における改善進捗状況について ・SNS活用に向けて
経営改革会議⑦	令和4年 10月21日 (分科会)	・法人全体の現況報告及び令和4年9月実績、取り組み内容 ・職員紹介制度導入に向けた進捗状況について ※制度運用後の振返り ・SNS活用について

経営改革会議⑧	令和4年 11月18日 (分科会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体の現況報告及び令和4年10月実績、取組み内容</li> <li>職員紹介制度導入に向けた進捗状況について</li> <li>経営改善計画策定に向けて</li> <li>SNS活用について</li> </ul>
経営改革会議⑨	令和4年 12月16日 (分科会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体の現況報告及び令和4年11月実績、取組み内容</li> <li>職員紹介制度導入に向けた進捗状況について</li> <li>経営改善計画策定について 現状把握、今後の方針、改善具体策、数値目標 等</li> </ul>
経営改革会議⑩	令和5年 1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体の現況報告及び令和4年12月実績、取組み内容</li> <li>職員紹介制度導入に向けた進捗状況について</li> <li>経営改革会議開催から1年経過後の振り返り</li> <li>経営改善計画策定について 基本方針、計画の内容説明後の進め方、策定期日</li> </ul>
経営改革会議⑪	令和5年 2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体の現況報告及び令和5年1月実績、取組み内容</li> <li>職員紹介制度導入に向けた進捗状況について</li> <li>経営改善計画策定状況について</li> </ul>
経営改革会議⑫	令和5年 3月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体の現況報告及び令和5年1月実績、取組み内容</li> <li>職員紹介制度導入に向けた進捗状況について</li> <li>経営改善計画書策定状況について及び意見交換</li> </ul>

### 3. 中期計画進捗会議／中期計画進捗会議事務局会議／実績会議への報告

第3期中期計画（令和3～5年度）では、第2期中期計画において事業団全体でまた新たな活動の種を育てていくこと、そしてその後実らせていくこと（成果を出す）を目標とした。

第3期中期計画（2年目）においては、新型コロナウイルス感染拡大（クラスター発生等）に伴い、各部門が集まり実施する進捗会議を開催することができず、また全職員への説明会を開催することができなかったことから、職員全体への周知・浸透が不十分となった。

しかし、このような状況下において一部着手できなかったものの、各部門で作成された計画に基づき実行され、ICT導入による業務の効率化、職員体制（夜勤）見直しあるいは介護人材確保に向けた新たな取組み等、一定の成果が得られた。

また、次年度は第3期中期計画最終年度にあたり、各部門で策定された計画が着実に実施されるよう進捗管理を行うことに加え、新たに第4期中期計画の策定に向け検討を行っていく必要がある。

については、第3期中期計画実施期間中に実施したSWOT分析あるいは職員の意識調査（モラル・サーベイ）で分野別の傾向等について分析を行った結果などを参考にして、今後さらに風通しの良い組織及び職場づくりに向け、職員一丸となって取り組んでいく。

#### (1) 開催実績

第3期中期計画（2年目）において開催された会議等について、下記のとおり報告する。

中期計画関連会議等 開催実績		
会議等名称	開催日	主な議事
事務局会議①	令和4年 7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3期中期計画（2年目）進捗会議の開催に向けて</li> </ul>
進捗会議①	令和4年 8月12日 ※コロナ感染拡大 により中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3期中期計画（2年目）について 実施内容、推進体制の確認及びプロジェクト責任者の決定</li> <li>実施内容の把握及び実施時期の決定</li> </ul>

(2) 実施目標項目における成果

第3期中期計画（2年目）に掲げた項目のうち、各部門における成果を下記のとおり報告する。

**【榛原の里】**

●項目：ICT導入効果を活かした取組み	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT導入目的共有と活用方法習熟</li> <li>サービス向上効果検証、活用事例の研究</li> <li>業務負担軽減（効果検証）と職員配置見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順書の作成について検討を行った。今後は手順書の内容及び必要性等さらに検討していく</li> <li>ケアカルテの取扱いについては習熟できてきている</li> <li>職員体制変更改革を実施し、夜勤体制の見直しを図った</li> </ul>
●項目：健全経営に向けた取組み	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>経営を意識した教育体制構築（役割基準書の浸透）</li> <li>入院者を減らす取組み（ICT機器活用等）</li> <li>実績報告と対策会議検討（対面・オンライン併用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割基準書が求める期待された役割の開催を検討し、職員への浸透を目的に研修会を開催することを試みたが、コロナの影響により実現できなかった</li> <li>眠りスキヤンのデータを十分に活用することができなかった</li> <li>毎月定期的実施してきた経営改革会議において、健全経営を行う上での課題が明確になり、それにあわせて改善計画を策定した</li> </ul>
項目：働きやすさを実感できる職場づくり	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>職場風土構築と新たな業務手順の見直し</li> <li>介護の質の標準化</li> <li>安全に働ける環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な人員不足に伴う一夜勤体制の見直しを図るため、業務の見直しを行った</li> <li>コロナ禍で各セクション間の協力体制が十分に整わず、取組みが遅れた</li> <li>衛生委員会の開催により、安心・安全に働ける職場づくりに努めた</li> </ul>
項目：多様な雇用形態の職員の受入れ検証・構築	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>受入れ目的や情報収集、検証、受入れ計画策定</li> <li>法人本部との協議、情報共有、受入れ計画協議</li> <li>他の特養施設視察、榛原の里での受け入れ体制構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人採用については社会情勢等により計画策定時と異なり進んでいないが、今後の必要性について再検討を行う</li> <li>上記の理由により進んでいないが、他施設での事例等を参考に今後進めていく</li> <li>コロナの影響により視察等実施できなかった</li> </ul>

**【訪問】**

●項目：ICT導入による業務効率向上	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>care-wingを用いた書類の簡素化による業務の効率化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士の情報共有がスムーズに行えるなど、業務効率の向上が図れ、またタイムリーに指示、申し送りができている</li> <li>ペーパーレスでサービス提供責任者の業務の簡略化が図れた</li> </ul>



<b>●項目：階層別担当業務のマニュアル作成</b>	
<b>実施内容</b>	<b>主な成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R3年度検討した職層別担当業務の明文化</li> <li>・業務の標準時間の検討・設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別担当業務の明文化については、所長会議において検討しまとめることができた</li> <li>※明文化された担当業務を周知し、実施していく</li> <li>・現在検討中であるが、標準の訪問時間、サ責時間を算出し、常勤の稼働を上げることを目標とする</li> </ul>
<b>●項目：パートヘルパー確保について</b>	
<b>実施内容</b>	<b>主な成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修受講者の情報収集と採用活動実施</li> <li>・パートヘルパー採用者への研修及び面談の実施 (研修マニュアルの作成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者・生活援助研修から4名の採用ができた</li> <li>・研修マニュアルが完成した</li> <li>今後は実際にマニュアルを運用し、マニュアルの見直し等検討していく</li> </ul>
<b>●項目：オンライン研修実施</b>	
<b>実施内容</b>	<b>主な成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン研修サービスの評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン研修を随時実施又は活用している</li> <li>今後どのような研修を実施していく等の検討を行っていく</li> </ul>

## 【居 宅】

<b>●項目：ICT導入による業務省力化</b>	
<b>実施内容</b>	<b>主な成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットでの絆システムの確実な運用</li> <li>・目標（受託件数37件）と定め、目標を達成するための問題点を見つけ、課題を設定し取組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの活用については浸透しているが業務の省力化には結びついていない</li> <li>絆システムについては、理解を深めるためにもう一度業者からの説明が必要</li> <li>・事業所毎に創意工夫、努力し件数を増やすことができた</li> <li>今後は収支バランスにも着目するなど経営面からもアプローチしていきたい</li> </ul>
<b>●項目：研修受講（オンラインを含む）実施</b>	
<b>実施内容</b>	<b>主な成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画策定と研修受講（オンライン含む）の実施</li> <li>・研修受講の進捗状況の確認と評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画については、特定事業所加算を取得している関係もあり、計画的、自主的に取組んでいる</li> <li>・自己研鑽で受けた研修を他ケアマネとも共有するための伝達研修を行っている</li> <li>・今年度の研修計画実施及び目標について自己評価したものを所長に提出した後、所長が評価したものが本人にフィードバックされる流れができた</li> </ul>
<b>●項目：地域福祉への貢献</b>	
<b>実施内容</b>	<b>主な成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(居宅) 地域講座講師派遣</li> <li>・(包括) 地域資源の整理と開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響により実施できず</li> <li>今後は各ヘルパーステーションのパートヘルパー向けにワンポイント介護保険の形での講座開催も検討していく</li> <li>・地域資源の開発までには至っていないが、地域の耳寄りな情報などは包括職員内で情報共有するためフォルダにまとめる等工夫している</li> </ul>

●項目：職員のケアマネジメント力の向上	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会に参加（法人内年2回、所属包括エリア内年2～3回、その他）</li> <li>・包括エリア別多職種連携会議に参加する（年1回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の事例検討会については、各居宅のケアマネが参加し年2回実施できている。また、各包括エリアでの事例検討会にも、各居宅が参加し、リーダーの役割を担うなど積極的なかかわりを持つことができている</li> <li>・多職種連携のチームに参加し、その中でリーダーを務め、地域の役割を担っている</li> </ul>

## 【通所】

視察研修、交流研修及び委員が集まったの会議の開催を目標項目として挙げていたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い実施することはできなかった。令和5年度においては、コロナ感染症の感染症法上の位置付けの変更に伴い、可能な範囲で視察研修及び交流研修と実施していく。

今年度のリーダー会議は、すべてZ o o mを活用した形式での開催、またZ o o mで参加する外部研修へ積極的に参加するなど、Z o o mをうまく活用できる体制が整った。

## 【法人本部】

●項目：安心・安全な事業体制の構築	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続計画（BCP）フォーマット作成</li> <li>・感染症対策マニュアルフォーマット作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマット作成が完了し、今後実施検証を行う</li> <li>・フォーマット作成が完了し、今後実施検証を行う</li> </ul>
●項目：職員採用に関する取組み	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用活動のあり方検討と見直し</li> <li>・有償ボランティア受入れの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員紹介制度規程制定及び運用開始 令和5年3月17日理事会において承認を得て、規程の見直しを行った</li> <li>・今年度検討できず</li> </ul>
●項目：職員のモチベーション向上に向けた取組み	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度委員会の立ち上げ</li> <li>・人事評価制度導入に向けた検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度検討できず</li> <li>・ベースアップ加算の申請・取得済み</li> </ul>
●項目：ICT導入による業務効率化	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤怠管理（タイムカード）の運用状況確認</li> <li>・人事・給与システム更新の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所で運用開始 実績データ確認及び修正作業がおおよそ完了している</li> <li>・システムの内容等を確認するため業者（1社）デモ実施 今後は現在の勤怠管理と連動するため、複数社でデモを行うなど、情報収集及び運用までの実施計画を策定する</li> </ul>
●項目：事業別実績・分析検討会の実施	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所管理者（リーダー層）参加の実績・分析検討会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績管理シートを作成し、経営改革会議にて実績報告を行い、各事業所の状況等の把握を行っている</li> </ul>
●項目：各事業のあり方協議	

実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現事業再編計画</li> <li>・新規事業の検討</li> <li>・5カ年事業計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善会議において「経営改善計画」を策定</li> <li>・経営改善計画については、理事会への説明、さらには施設長・所長会議において説明を行うなど、職員への周知を行った</li> </ul>
●項目：安定経営に向けた計画策定と準備	
実施内容	主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・榛原の里大規模修繕計画の見直し案策定</li> <li>・資金調達計画の検討・実施</li> <li>・事業別・法人全体長期収支計画策定と年次見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善計画に今後の実施計画を示した</li> <li>・検討までには至らず</li> <li>・経営改善計画に主要事業別施策及び収支状況をまとめ計画書を作成</li> </ul>

#### 4. 人材育成

##### (1) 国家資格等取得及び更新の奨励制度の活用状況

平成30年4月1日から施行している「国家資格等取得及び更新の奨励に関する要綱」に基づき、奨励金及び助成金を令和4年度に研修の申し込みを行った職員に支給した。

令和4年度の制度活用実績				
資格の種類	支給対象項目	支給した人数	支給金額合計	うち県補助金*
介護職員初任者研修修了	研修受講	0名	円	0円
介護福祉士	実務者研修受講	3名	252,241円	167,000円
	試験合格	3名	60,000円	
介護支援専門員	実務研修	0名	0円	
	更新研修	0名	0円	
令和4年度支給額 合計		6名	312,241円	167,000円

(\*) 滋賀県介護職員研修受講支援事業費補助金を申請し、支給額の3分の2の補助金を受けている。

#### 5. 職員の入職・退職状況（事業団全体）

##### (1) 令和4年度の入・退職実績人数（R4.4.1～R5.3.31）

雇用形態	正規	嘱託	契約	パートホームヘルパー	合計
入職	6名	8名	30名	11名	55名
退職	11名	13名	27名	9名	60名
R4.4.1在職人数	103名	65名	118名	87名	373名
離職率	10.6%	20.0%	22.8%	10.3%	16.0%

※ R4.4.1 現在人数には嘱託医、年休対応職員を含む

##### (2) 令和4年度 職員募集・採用選考実施状況（令和5年度入職予定者含む）

募集職種	選考実施回数	応募者数	採用決定者数	採用決定者内訳
ケアワーカー（榛原）	6回	6名	2名	
介護支援専門員	2回	1名	1名	
ホームヘルパー	1回	3名	3名	
介護関係職員	1回	0名	0名	
合計	10回	10名	6名	
募集職種	採用決定者数	応募のきっかけ		
パートホームヘルパー	11名	事業団初任者研修修了者（2名）、生活援助員研修修了者（2名）		

募集方法等：ハローワーク、新聞折込・求人誌、人材派遣・人材紹介、求人サイト掲載他

## 【老人福祉センター】

位 置	大津市立木戸老人福祉センター 大津市木戸58番地 大津市立北老人福祉センター 大津市今堅田二丁目4番1号 大津市立中老人福祉センター 大津市打出浜1番5号 大津市立南老人福祉センター 大津市南郷一丁目14番30号 大津市立東老人福祉センター 大津市玉野浦6番33号
-----	--

事業内容  
 ・老人福祉法に基づく老人福祉センター  
 ・老人福祉法に基づくデイサービス事業  
 （木戸・中老人福祉センターを除く。）

事業報告  
 大津市の指定管理を受け管理運営を行っている5か所の老人福祉センターでは、市内在住の60歳以上の高齢者の福祉増進の拠点として、健康等に関する各種相談をはじめ、介護予防のための運動実践として「介護予防講座」を開催する等、利用者が健康で明るく、そして気軽に楽しく過ごせる場の提供を行っている。令和4年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大に伴い、検温やアルコール消毒の徹底及びソーシャルディスタンスを保つため、利用制限を行う等対策を取りながらの運営となった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため毎年開催している高齢者趣味講座発表会等のイベントを自粛するなど大変厳しい1年となった。一方、人数制限はあるものの、平成21年10月より開催している介護予防講座「ずーっと元気体操」をはじめ、シニアエアロビクス（木戸老）、歌と音楽の健康体操（中老）、レベルアップ体操（南老）など、介護予防に向けた内容を取り入れた運動教室について開催することができた。また、1回100円の一般利用者を対象とした入浴サービスも利用制限を行いながら実施することができた。

北、南、東の各老人福祉センターのデイサービス事業では、介護保険法に基づき要介護及び要支援等の認定を受けられた高齢者に対し入浴や食事、日常動作機能回復訓練、レクリエーション等により自立した生活が営めるよう支援等を行うとともに、利用者一人ひとりに対してより一層きめ細かいサービスを提供することに努めた。

### 1. デイサービス利用状況

項目 \ 施設名	北老人福祉センター	南老人福祉センター	東老人福祉センター	
実施日数	249日	253日	243日	
年間利用延人数	2,756人	3,006人	3,463人	
年間平均 利用者数	3年度	10.7人/日	12.4人/日	13.3人/日
	4年度	11.1人/日	11.9人/日	14.3人/日
入浴介助	2,713人	2,596人	3,015人	
サービス提供体制強化加算	なし	加算I	加算I	

※北老人福祉センター

新型コロナウイルスの影響により、令和4年度は6日間デイサービス事業を休止

※南老人福祉センター

新型コロナウイルスの影響により、令和4年度は2日間デイサービス事業を休止

※東老人福祉センター

新型コロナウイルスの影響により、令和4年度は12日間デイサービス事業を休止

## 2. 老人福祉センター利用状況

(生きがい事業)

項目\施設名	木戸老人福祉センター		北老人福祉センター		中老人福祉センター	
開館日	294 日		294 日		294 日	
年間 利用 人員	3年度	17,556 人 (1日当り 60 人)	14,648 人 (1日当り 50 人)	35,842 人 (1日当り 122 人)		
	4年度	19,125 人 (1日当り 65 人)	16,254 人 (1日当り 55 人)	36,751 人 (1日当り 125 人)		
入浴者数	6,692 人 (1日当り 27 人)		8,728 人 (1日当り 35 人)		7,255 人 (1日当り 30 人)	
各種相談事業 年間利用人員	医療相談(月2回)	5 人	医療相談(月2回)	1 人	医療相談(月2回)	17 人
	健康・生活相談	21 人	健康・生活相談	1 人	健康・生活相談	409 人
各種教養講座 年間利用人員	朗仁講座(6講座)	185 人	和紙人形教室(月1回)	21 人	俳句教室(月1回)	72 人
	フォークダンス	256 人	民謡教室(月2回)	6 人	民謡教室(週1回)	200 人
	源氏茶論	69 人	歌謡教室(週1回)	773 人	舞踊教室(月4回)	280 人
	キルトサークル	157 人	民謡教室(週1回)	81 人	茶道教室(表)(月1回)	75 人
	自彊術	341 人	詩吟同好会	102 人	茶道教室(裏)(月2回)	179 人
	絵手紙	365 人	癒しの園芸療法	66 人	煎茶教室(月2回)	45 人
	太極拳	281 人			大正琴教室(月2回)	85 人
健康体操 年間利用人員	ずーっと元気体操	4,015 人	ずーっと元気体操	1,956 人	ずーっと元気体操	2,101 人
	健康体操	69 人	健康体操	160 人	健康体操	173 人
				歌と音楽の健康体操	273 人	

項目\施設名	南老人福祉センター		東老人福祉センター		
開館日	294 日		294 日		
年間 利用 人員	3年度	12,376 人 (1日当り 43 人)	10,036 人 (1日当り 34 人)		
	4年度	13,434 人 (1日当り 46 人)	10,668 人 (1日当り 36 人)		
入浴者数	7,784 人 (1日当り 32 人)		4,536 人 (1日当り 19 人)		
各種相談事業 年間利用人員	医療相談(月2回)	7 人	医療相談(月2回)	13 人	
	健康・生活相談	1 人	健康・生活相談	0 人	
各種教養講座 年間利用人員	民謡教室(週1回)	180 人	シニアパソコン	114 人	
	気功教室(月2回)	107 人	若葉会(手芸)	70 人	
	漢字書道教室(月2回)	142 人	舞踊教室(週1回)	327 人	
	かな書道教室(月2回)	83 人	大正琴教室(月2回)	76 人	
	ちぎり絵教室(月2回)	73 人	日本手毬(月1回)	34 人	
	民謡教室(月2回)	165 人	太極拳	142 人	
	大正琴教室(月2回)	98 人			
健康体操 年間利用人員	ずーっと元気体操	1,702 人	ずーっと元気体操(体操)	1,013 人	
	健康体操	116 人	ずーっと元気体操(気功)	1,056 人	
	レベルアップ体操	486 人	健康体操	153 人	

※入浴実施状況 各老人福祉センターとも (週5日) 火・水・木・金・土

※5センター利用者合計 4年度 96,232 人 3年度 90,458 人  
(1日あたり 327 人) (1日あたり 309 人)

※木戸老人福祉センターにおいて、積雪によるボイラー凍結のため、令和5年1月25日入浴事業を休止

※中老人福祉センターにおいて、積雪による受水槽配管凍結のため、令和5年1月25日から26日まで入浴事業を休止

## 【デイサービスセンター】

位 置	大津市立木戸デイサービスセンター	大津市木戸709番地
	唐崎デイサービスセンター	大津市唐崎三丁目17番35号
	晴嵐デイサービスセンター	大津市北大路一丁目9番2号

事業内容 ・老人福祉法に基づく老人デイサービスセンター

事業報告 木戸、唐崎、及び晴嵐デイサービスセンターで実施しているデイサービス事業では、介護保険法に基づき要介護及び要支援等の認定を受けられた高齢者に対し入浴や食事、レクリエーション等により自立した生活が営まれるよう在宅福祉の支援に努めるとともに、利用者一人ひとりに対し、より一層きめ細かいサービスを提供することに努めた。一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年度に引き続き地域と密着したデイサービスを目指すための行事（夏祭り等）は全て中止することとなった。

唐崎及び三大寺では、生活援助員派遣事業（シルバーハウジング世話付住宅）を行い、入居者に対する安否確認や日常の生活援助を行うため生活援助員を配置し、安心した生活が営まれるよう支援を行った。シルバーハウジングの入居状況は、令和5年3月末現在で、唐崎10世帯(内、独居9世帯)、三大寺24世帯(内、独居18世帯)である。

また、唐崎デイサービスセンターでは、地域の高齢者へ施設を開放するとともに、人数制限を設けながらではあるが1回100円の一般利用者を対象とした入浴サービスを実施した。

唐崎デイサービスセンター一般利用者合計 年間2,745人  
(1日あたり11.4人)

### デイサービス利用状況

項目 \ 施設名		木戸デイサービスセンター	唐崎デイサービスセンター	晴嵐デイサービスセンター
実施日数		247日	245日	255日
年間利用延人数		6,246人	3,452人	2,899人
年間平均利用者数	3年度	25.9人/日	13.8人/日	12.7人/日
	4年度	25.3人/日	14.1人/日	11.4人/日
入浴介助		5,611人	3,216人	2,807人
サービス提供体制強化加算		加算I	加算III	加算I

#### ※木戸デイサービスセンター

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は8日間デイサービス事業を休止

降雪の影響により、令和5年1月25日から26日デイサービス事業を休止

#### ※唐崎デイサービスセンター

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は10日間デイサービス事業を休止

降雪の影響により、令和5年1月25日デイサービス事業を休止

## 【ホームヘルプサービス事業】

- 事業内容
- ・老人福祉法に基づく老人居宅介護等事業
  - ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業  
(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護)
  - ・障害者移動支援事業 (大津市委託事業)
  - ・多胎児家庭育児支援事業 (大津市委託事業)
  - ・生活応援サービス (自費サービス)

事業報告 大津市内に6カ所のヘルパーステーションを展開し、市内全域に介護保険サービス、総合事業サービス、障害福祉サービス、大津市の委託事業サービスを提供している。

令和4年度は、訪問介護記録システム (care-wing) の活用による業務の効率化や、月次実績報告書による数値目標の可視化、職位ごとの役割分担の明確化を行い、生産性を向上させ収益の改善に努めた。

パートホームヘルパーは87名前後で推移しており、近年続いていたパートヘルパーの減少傾向に歯止めがかかっている。ただし、高齢化や時給の上昇により1人あたりの稼働時間の減少傾向は継続しているため、新しく採用したパートヘルパーの育成・定着を推し進め、稼働時間を増加させていく。

パートヘルパーの人数は100人を目標としており、当法人で実施している介護職員養成研修の受講生に働きかけて、パートヘルパーの確保に努めるとともに、働きやすい職場を実現し、パートヘルパーの定着・育成を進める。また新型コロナウイルス感染症に対しては、基本的な感染対策を徹底し、安心安全なサービスの提供に努める。

### ホームヘルパー利用実績

・令和3年度

区 分	年間延利用人数	月平均	年間利用時間
介護保険 (訪問・総合事業)	5, 259人	438人	44, 159時間
障害福祉サービス事業	1, 857人	155人	15, 311時間
障害者移動支援事業	182人	15人	816時間
多胎児育児支援事業	102人	9人	455時間
計	7, 400人	617人	61, 003時間

生活応援サービス	185人	15人	301時間
----------	------	-----	-------

・令和4年度

区 分	年間延利用人数	月平均	年間利用時間
介護保険（訪問・総合事業）	5, 4 7 6 人	4 5 6 人	4 5, 3 3 1 時間
障害福祉サービス事業	1, 7 7 1 人	1 4 8 人	1 4, 5 7 1 時間
障害者移動支援事業	1 9 2 人	1 6 人	8 1 0 時間
多胎児育児支援事業	1 1 0 人	9 人	5 8 9 時間
計	7, 5 4 9 人	6 2 9 人	6 1, 3 0 1 時間

生活応援サービス	1 9 0 人	1 6 人	3 1 3 時間
----------	---------	-------	----------



## 【障害者相談支援事業】

- 事業内容
- ・大津市からの委託による障害者の相談支援事業
  - ・障害者総合支援法に基づく障害者一般相談支援事業・特定相談支援事業
  - ・児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

事業報告 木戸デイサービスセンター内に、木戸障害者相談支援センターを開設し、専任の相談員1名が相談事業に従事している。

市からの委託料 月額222,200円

個別訪問調査委託料 1件 6,920円

サービス利用支援 1件 15,497円

継続サービス利用支援 1件 12,836円

主な支援方法は、訪問や来所による相談、同行、関係機関との調整などであり、支援内容は福祉サービスの利用方法・事業所等の紹介、社会参加・余暇活動の紹介、家族関係・人間関係の調整、サービス等利用計画の作成とそれに伴うモニタリングの実施、障害支援区分の認定調査などである。

相談実績 個別相談支援活動の件数

相談支援を利用している障害者等の人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	19	0	12	13	0	0	0
障害児	0	0	12	1	7	0	0
合計	19	0	24	14	7	0	0

支援方法

支援方法	件数
訪問	107
来所相談	6
同行	29
電話相談	179
電子メール	22
個別支援会議	20
関係機関	438
その他	13
合計	814

支援内容

支援内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	307
障害や病状の理解に関する支援	19
健康・医療に関する支援	205
不安の解消・情緒安定に関する支援	14
保育・教育に関する支援	9
家族関係・人間関係に関する支援	8
家計・経済に関する支援	31
就労に関する支援	8
社会参加・余暇支援に関する支援	1
権利擁護に関する支援	9
その他	203
合計	814

## 【特別養護老人ホーム榛原の里】

位 置 大津市真野普門三丁目1120番地

事業内容 ・老人福祉法に基づく特別養護老人ホーム  
・老人福祉法に基づく老人短期入所事業（ショートステイ）  
・老人福祉法に基づく老人デイサービス事業

### 事業報告

#### 1. 特別養護老人ホーム（長期入所）・・・定員114名

長期入所は、令和元年度から引き続き慢性的な介護職員不足のため入居者・利用者の受け入れを制限し、計画的に空床を設けてきた。今期は当初予算作成時点において夜勤可能な介護職員の42名体制を早期に実現し、稼働率も定員114名に対し92.4%の107.2人を目標値と定めた。しかし、今期の採用等の最終的な実績は採用3名、退職4名、人事異動1名の計38名体制であり、人員体制の整備は進まなかった。その結果、空床も改善されず、また後述する新型コロナ感染拡大の影響もあり、最終的には年間の平均ベッド利用状況は一日当たり平均99.8人(平均ベッド稼働率87.5%)の稼働状況となった。引き続き空床改善に向け入居者及び夜勤介護職員の充足に努めていく。

また、ICT機器の導入に関しては、令和2年度末から3年度にかけて、滋賀県介護職員環境改善支援事業補助金等を活用し、眠りスキャン40台をはじめ各種のICT機器を導入し、特養の記録管理や情報収集の一元化を図り、業務効率の改善を図ってきた。しかし、ICTチーム会議内での眠りスキャンが発するデータの活用が十分に図れなかったという反省点を踏まえ、令和5年度以降は、ICTチームが主体となり、入居者・利用者の健康管理等へ利用できる方法を検討していく。

また、最優先課題であるコロナ対策では、昨年3月9日に施設内でコロナの罹患者が発生し、一時的には入居者・職員併せて34名の罹患者を抱え、クラスターに認定されたが4月8日に終息した。しかし、その後も施設内におけるコロナ罹患者の発生状況は収まらず、大きな波は9月、11月、そして1月とほぼ1年間に及んだ。結果としてその間、入居者・利用者の確保は困難を極め、そのことも令和4年度の経営状況に大きな影響を及ぼすこととなった。しかし、その反面、これらの事態に対処する術を職員は次第に身に着け、罹患者が発生しても拡大を防ぐことはできたことは、今後同種の感染症が発生した時には大いに役立つ経験と思われる。

なお、今後一層の入居者の獲得を図るため、3月に夜勤体制の見直しを図り、各班それぞれが2人夜勤体制に移行できる体制づくりに取り組み、新年度に向けてのステップアップを図った。

さらに施設内委員会（新型コロナ感染症対策・研修・広報・給食・衛生感染症・排泄褥瘡予防、リスクマネジメント）においては、常に課題抽出を行い、全員が課題共有できるようセクション間での連携を意識した運営ができた。また、介護老人福祉施設の第一義と捉えるQOL向上支援について、ご家族や身元引受人等とのコミュニケーションに努めながら、介護・看護および専門職層がケアマネジャーを中心としたサービス担当者会議を通じて意思疎通を図り、承認されたケアプランに基づいて様々な支援を行いながら、皆様の穏やかな生活の提供に寄与することができた。

※令和5年3月31日現在の状況は次のとおりである。

(1) 入所区分

区 分	男 性	女 性	計
男 女 別	8人	88人	96人
平 均 年 齢	86.3歳	90.4歳	90.0歳

- ・市内入所者 94人 市外入所者 2人
- ・90歳以上 48人 (男性 3人、女性45人)
- ・最高年齢者 104歳(女性) 最低年齢者 71歳(女性)

(2) 要介護区分

要介護度	1	2	3	4	5	平均要介護度
人 数	0	1	30	37	28	4.0
比 率	0%	1.0%	31.3%	38.5%	29.2%	

(3) 入居状況(稼働率)

年度	利用延人数	稼働率	一日当たり入居者数	定員
2年度	37,073人	88.8%	101.3人/日	114床
3年度	37,918人	91.1%	103.9人/日	114床
4年度	36,416人	87.5%	99.8人/日	114床

(4) 心身の状況

- ・ねたきり 11人 (入所者全体の11.5%)
- ・車椅子利用 83人 ( " 86.5%)
- ・認知症関係 95人 ( " 99.0%)

2. ショートステイ・・・定員16名

寝たきりや認知症など介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的にご家庭で介護が困難な場合やレスパイトケアを目的に短期入所サービスを利用されるもので、日常生活上の援助等を個別のニーズに基づいた短期入所生活介護サービス計画により提供した。コロナ禍の影響あるいは夜勤介護職員不足により1日平均6名(稼働率37.5%)の稼働状況となり、一日当たり15人の目標値を下回った。

・利用状況

年度	利用実数	利用延人数	稼働率	一日当たり利用者数	定員
2年度	278人	3,274人	56.2%	9.0人/日	16床
3年度	252人	3,059人	52.4%	8.4人/日	16床
4年度	126人	2,178人	37.5%	6.0人/日	16床

### 3. デイサービス・・・定員29名（通常規模型）

要介護、要支援状態または事業対象者（総合事業）と判定された方が、利用者の社会的な孤独感の解消及び心身の機能維持を図るため、また、家族介護の軽減に資するため、個別のニーズに基づいた通所介護サービス計画によりサービス提供に努めた。

また、今期においては、先述したように特養及びデイサービスにおいてコロナの罹患者が発生したことなどにより、利用自粛等から1日当たりの目標数値が当初の目標値（24人）を下回る結果となった。

#### ・利用状況

区 分	実施日数	利用者数	1日当り 利用者数	サービス内容	
				入 浴	食 事
通常 規模型	246日	介護4,380人 予防 893人 計5,273人	21.4人	4,844人	5,271人

※令和3年度 21.3人/日

### 4. 令和4年度榛原の里施設整備状況

榛原の里は、平成23年4月1日より大津市から施設譲渡を受け、大津市との間での譲渡に関する協定書により、平成23年度から10年間（令和2年度）で5億円の改修事業（市からの補助金は60%の3億円）を実施する予定であったが、未執行の部分が生じたことから、令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間に大津市から補助金として毎年20,000千円ずつの計60,000千円が交付されることとなり、令和4年度は、その2年目として下記の工事を実施した。

#### ・施設整備費の内訳

工 事 名		金 額（税込） 円
特別養護老人ホーム榛原の里別館2階空調機更新工事		8,070,700
受変電設備更新工事		4,719,000
自動火災報知設備受信機更新工事		6,457,000
本館2階居室・廊下等空調設備更新工事設計業務委託		3,795,000
合 計		23,041,700
財源内訳	市補助金	20,000,000
	事業団負担	3,041,700

## 【大津市立さがみ川老人憩の家運営事業】

位 置 大津市膳所二丁目5番5

事業報告 令和元年度から大津市の委託を受け、施設の管理及び運営を行った。  
さがみ川老人憩の家では、市内に居住する60歳以上の高齢者の心身の健康増進を図ることを目的に、入浴事業を実施した。

利用状況

入浴者数

年 度	項 目	開館日	入浴者数
3年度	年間計	127日	2,528人
	1日平均		19.9人
4年度	年間計	147日	2,950人
	1日平均		20.1人

## 【ふれあいプラザ】

位 置 大津市浜大津四丁目1番1号（明日都浜大津4・5階）

事業の種別 公益事業

事業報告 大津市の指定を受けた指定管理者として、明日都浜大津の4階、5階の貸室業務を中心に、施設の運営及び維持管理等を行っている。

「大津市ふれあいプラザ」の設置目的を理解し、市民の福祉の増進及び市民の交流の促進に貢献する場の提供を心掛けた。

新型コロナウイルス感染症が確認され3年目に突入し、感染拡大の終息が見通せない中ではあるが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえでの開館となった。利用状況については、3密を避けるため、使用できる座席数を制限する等の対応を図りながらのご利用となる一方、ホール、視聴覚室においては長期間、市のワクチン接種会場として利用があったことなどから、年間利用者数が13万人以上となった。

事業計画にも掲げていた自主事業については、「チェアヨガ体験」を新たに実施したところ好評であった。しかし、市でワクチン接種会場として使用されるホール・視聴覚室の利用状況が不確定（仮予約の際、実施開始日や実施期間が明確ではなかった）であったことから、他自主事業については会場確保が困難な状況にあり、実施には至らなかった。

施設の利用促進については、ホームページによる貸室予約状況の情報提供や利用申込みが重複した場合に代替利用を促し利用調整を行うなど、稼働率向上を図った。さらに、ご利用者の声をお伺いする目的でアンケートを実施し、多くの方に満足いただいている結果となった。

職員研修では、利用申込みや問い合わせでご利用者と直接の対応が必要となることから、独自に接遇研修を開催し、職員の意識改革を図った。

施設管理運営の課題としては、空調や照明器具の経年劣化により不具合が生じ、ご利用者からもその件についてご意見をいただいております。今後も引き続き機器更新あるいは修繕について大津市と協議・連携を図り対応していく。

### 貸室利用状況

貸室区分：ホール、視聴覚室、大会議室、中会議室、小会議室、和室

開館日数：353日（令和3年度353日）

年度	項目	貸室件数	利用者数
3年度	年間	4,380件	147,582人
	1日平均	12.4件	418.1人
4年度	年間	4,015件	136,479人
	1日平均	11.4件	386.6人

## 【介護員養成研修事業】

事業の種別 公益事業

滋賀県介護員養成研修事業実施要綱に基づく知事指定研修

### 事業報告 (1) 介護職員初任者研修課程

事業団では、平成16年度から訪問介護員養成研修事業を実施し（平成25年からは介護職員初任者研修に移行）、延べ551名（平成16年度～令和4年度の累計）が修了し、多くの方が介護分野で就業頂いているところである。

令和4年度も感染症対策を十分に行ったうえで6月に開講（一部実習は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止）、23名が修了した。

今後も、介護保険制度のもと、高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切なサービスを提供するため、必要な知識、技能を有する介護職員の養成に努めていく。

実施期間	令和4年6月7日～令和4年11月29日までの22日間 (延べ130時間)
受講者数	24名（定員30名）・・・修了者23名
受講料	30,000円 介護に関わる人材が不足している中で、少しでも人材を増やす事が求められており、より研修を受けやすくするため、また事業団として社会貢献を積極的に展開する一助となるよう、受講料を安価に設定している。

### (2) 生活援助従事者研修

生活援助従事者研修は、平成30年度に新設された掃除、洗濯、調理など生活援助サービスを提供する人材を育成するための研修であり、大津市の委託を受けて実施した。令和4年度は10月に開講し、5名が修了した。

実施期間	令和4年10月4日～令和4年11月25日までの12日間 (延べ59時間)
受講者数	5名（定員30名）・・・修了者5名
受講料	無料

## 【木戸交流センター】

位 置 大津市木戸709番地

事業の種別 公益事業

事業報告 平成21年度から大津市の指定を受けた指定管理者として管理・経営を行った。

令和2年4月に木戸コミュニティーセンターから木戸交流センターに改称し、福祉、教育等をはじめとする地域の交流の場及び人と人とのふれあいや心のつながりを深める場として、広く市民に提供し、さらに多くの市民に利用されるよう情報提供を図って、効率的な貸室業務を実施した。

### 貸室利用状況

貸室区分：集会室、和室1、和室2、調理実習室

実貸室日数：312日（令和3年度297日）

年度	項目	貸室件数	利用者数
3年度	年間計	367件	2,532人
	1日平均	1.2件	8.5人
4年度	年間計	424件	3,742人
	1日平均	1.3件	12.0人



## 【居宅介護支援事業】

- 事業内容
- ・介護保険法に基づく居宅介護支援事業
  - ・介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部の業務（委託事業）
  - ・大津市における要介護認定要支援認定のための訪問調査実施業務（大津市委託事業）

事業報告 大津市内に5ヶ所の居宅介護支援事業所を設置し、介護支援専門員（ケアマネジャー）を配置し、介護保険法に基づく居宅介護支援事業を実施した。また、介護予防支援の一部委託業務を市地域包括支援センターから受託した。これらの事業においては、利用者や家族の希望を基に利用者の心身の状態、環境等に応じた適切なケアプランを作成し、居宅介護サービス事業所等と連携を図り、利用者の自立支援に向けた円滑なサービスの提供が図れるよう努めた。

利用状況では、利用者数が介護支援で前年に比べ微増、予防支援（総合事業の介護予防ケアマネジメントを含む）で45.1%増加している。

今後は、新任のケアマネジャーの育成・定着に努めながら、各事業所の実施地域の状況を見てケアマネジャーの増員を行い、上位の加算を取得することで、収支の改善を目指す。

### 居宅介護支援事業所実績件数

#### (1) 居宅介護支援、介護予防支援（ケアプラン作成）

・令和3年度

(単位：件)

区 分	居宅介護支援件数		介護予防支援受託件数		合 計	
	年間計	月平均	年間計	月平均	年間計	月平均
5居宅介護支援事業所	5,319	443	1,831	152	7,150	596

・令和4年度

(単位：件)

区 分	居宅介護支援件数		介護予防支援受託件数		合 計	
	年間計	月平均	年間計	月平均	年間計	月平均
5居宅介護支援事業所	5,326	443	2,592	216	7,918	659

(2) 要介護（要支援）認定訪問調査

要介護（要支援）認定のための訪問調査業務を大津市等から受託し、介護支援専門員が業務を実施した。

・令和3年度 (単位：件)

区 分	訪問調査件数	
	年間計	月平均
5居宅介護支援事業所	326	27

・令和4年度 (単位：件)

区 分	訪問調査件数	
	年間計	月平均
5居宅介護支援事業所	380	31

## 【地域包括支援センター事業】

- 事業内容
- ・介護保険法に基づく地域支援事業（包括的支援事業）
  - ・介護保険法に基づく介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業

事業報告 真野・真野北・伊香立・葛川学区の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、令和2年7月に真野地域包括支援センターを開所し運営している。

総合相談業務では常に初回相談を丁寧に分析し、専門職の意見を取り入れながら、相談者の困りごとの解決に努めた。

今年度はコロナ感染予防が長期化による健康二次被害を予防するため、地域のサロン等でフレイル予防の啓発（23か所）及び介護予防サポーター応援事業を後方支援に取り組んだ。また、真野地域包括支援センターの認知度が低い学区で開催されたマルシェに参加し、高齢者以外の方にも相談窓口を知ってもらえるよう周知活動を実施した。

相談件数は、前年度に比べて月平均で106.4%増加しており、特に窓口来所件数が他の委託包括と比較して多く、今後も地域に密着した事業所を目指していく。

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業においては、地域包括支援センターに所属するプランナーが1名であるため、地域の居宅介護支援事業所に事業委託し委託率は80%弱を推移しているが可能な限りサービス担当者会議に参加し、ケアプランの内容確認及び助言を行うことで円滑な事業に努める。

### 相談件数

- ・令和3年度（4月～3月）

区 分	延べ件数	月平均
電話相談件数	1,032件	86.0件
来所相談件数	429件	35.8件
訪問件数	272件	22.7件
計	1,733件	144.5件

### 給付管理件数

- ・令和3年度（4月～3月）

区 分	延べ件数	月平均
給付管理総件数	2,815件	234.6件
委託プラン件数	2,269件	189.1件

相談件数

・令和4年度（4月～3月）

区 分	延べ件数	月平均
電話相談件数	1, 194件	99.5件
来所相談件数	423件	35.3件
訪問件数	227件	18.9件
計	1, 844件	153.7件

給付管理件数

・令和4年度（4月～3月）

区 分	延べ件数	月平均
給付管理総件数	2, 964件	247.0件
委託プラン件数	2, 342件	195.2件

## 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の附属明細書「社会福祉法人会計基準」（平成28年厚生労働省令第79号第2条の2第3項に規定する附属明細書）「事業報告の内容を補足する重要な事項」

・ 社会福祉充実残額算定シート . . . 36頁

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	1,231,233,158
負債 (b)	180,845,959
基本金 (c)	3,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	663,200,322
合計 (a - b - c - d)	384,186,877

手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されて

計算式が設定されており、入力することはできません。

手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)

合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	758,502,708
--------	-------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	3,765,360
設備資金借入金	0
リース債務	12,335,590
合計 (b)	16,100,950

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	758,502,708
対応負債合計 (b)	16,100,950
対応基本金 (c)	3,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	663,200,322
合計 (a - b - c - d)	76,201,436

プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率				
						①建設工事費 デフレクター	②1㎡当たり単価上昇率			
							一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)	a / (b/c)
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	2011年度	6,268.3500			661,713,344	1.139	290,000	2,572,307,000	6,268.350	0.707
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	1995年度		269,690		242,721	1.186	290,000	269,690		
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	1996年度		768,895		692,006	1.183	290,000	768,895		
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	2011年度		3,528,000		0	1.139	290,000	8,820,000		
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	2012年度		12,222,000		0	1.147	290,000	30,555,000		
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	2013年度		14,205,600		0	1.118	290,000	35,514,000		
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	2015年度		4,752,000		0	1.079	290,000	11,880,000		
(棟原拠点) 大津市真野南門三丁目字六〇1120番地他	2018年度		122,880		0	1.022	290,000	307,200	-	-
(老人福祉センター-拠点) 大津市今笠田二丁目4-1	1997年度		459,375		413,438	1.174	290,000	459,375	-	-
合計										

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

※ 行が不足する場合は適宜追加すること。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	255,227,701
----	-------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	182,477,845
大規模修繕に必要な費用	70,127,126
設備・車輛等の更新に必要な費用	255,227,701
合計	507,832,672

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	1,390,357,358	12	347,589,339

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	1,390,357,358	12	1,390,357,358

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	384,186,877		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	76,201,436		
再取得に必要な財産	0	1,466,558,794	※「5. 計算の特例」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択すること。
必要な運転資金	0		
計算の特例	1,390,357,358		
合計	-1,082,370,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」」

項目	金額
社会福祉充実残額	-1,082,370,000
社会福祉充実計画用財産	
合計	-1,082,370,000

実残額算定シート

(いほすので、手入力は不要となります。)

①、②のいずれか 高い方の率	自己資金比率				合計額
	③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率		③、④のいずれか 高い方の率	
		建設時自己資金 (d)	d/b		
1.139	24%	-	-	24.0%	180,885,959
1.186	24%	269,690	100.0%	100.0%	287,867
1.183	24%	768,895	100.0%	100.0%	818,643
1.139	24%	3,528,000	40.0%	40.0%	0
1.147	24%	12,222,000	40.0%	40.0%	0
1.118	24%	14,205,600	40.0%	40.0%	0
1.079	24%	4,752,000	40.0%	40.0%	0
1.022	24%	122,880	40.0%	40.0%	0
1.174	24%	459,375	100.0%	100.0%	485,376
					182,477,845

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (③、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ( (a×b) × c / (a+c) )	
661,713,344	23%	-	-	564,978,035	70,096,120	70,096,120
242,721	23%	-	-	26,969	5,582	5,582
692,006	23%	-	-	76,889	15,916	15,916
0	23%	-	-	0	-	-
0	23%	-	-	0	-	-
0	23%	-	-	0	-	-
0	23%	-	-	0	-	-
0	23%	-	-	0	-	-
413,438	23%	-	-	45,937	9,508	9,508
						70,127,126

社会福祉充実残額算定シート別添 (財産目録)  
令和5年3月31日現在

(別添)

社会福祉充実残額算定シート別添 (財産目録)							(単位:円)		
貸借対照表科目	場所・物置等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	控除対象	控除対象額	社会福祉充実計画用財産額
<b>I 資産の部</b>									
<b>1 流動資産</b>									
現金預金	滋賀銀行本店営業部他		運転資金			99,296,491	×		
事業未収金	(全拠点)		2, 3月分介護報酬等			214,408,035	×		
未収金	(本部拠点)(棟原の里拠点)		包括支援センター派遣委託費他			1,621,205	×		
未収補助金	(棟原の里拠点)		施設整備等改修補助金			2,286,000	×		
前払金	(全拠点)		福祉サービス総合保険加入費用他			2,128,806	×	2,128,806	
仮払金	(老福拠点)(デイ拠点)(ふれあふ拠点)		お釣り用現金			105,000	○	105,000	
流動資産合計				0	0	319,845,537			
<b>2 固定資産</b>									
<b>(1) 基本財産</b>									
土地									
建物及び建物付属設備	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2011年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	1,226,691,379	661,713,344	564,978,035	○	564,978,035	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2012年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	30,555,000	12,521,485	18,033,515	○	18,033,515	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2013年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	35,514,000	8,585,420	26,928,580	○	26,928,580	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2015年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	11,880,000	11,879,999	1	○	1	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2016年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	5,052,290	4,908,718	143,572	○	143,572	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2017年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	3,055,000	2,458,002	596,998	○	596,998	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2018年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	6,290,400	4,033,206	2,257,194	○	2,257,194	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2019年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	15,985,801	7,354,287	8,631,514	○	8,631,514	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2020年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	15,533,881	3,070,060	12,463,821	○	12,463,821	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2021年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	25,228,399	2,392,492	22,835,907	○	22,835,907	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	2022年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	26,386,503	849,768	25,536,735	○	25,536,735	
定期預金	滋賀銀行大津市役所出張所					3,000,000	○	3,000,000	
基本財産合計				1,402,172,653	719,766,781	682,405,872			
<b>(2) その他の固定資産</b>									
土地									
建物	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	1995年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	269,690	242,721	26,969	○	26,969	
	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他	1996年度	第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設に使用している。	768,895	692,006	76,889	○	76,889	
	(老人福祉センター拠点) 大津市今堅田二丁目4-1	1997年度	第2種社会福祉事業である、大津市立北老人福祉センターの倉庫として使用している。	459,375	413,438	45,937	○	45,937	
構築物	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他		第1種社会福祉事業である、介護老人福祉施設の道路法面改修工事による取得。	16,604,818	3,563,113	13,041,705	○	13,041,705	
	(ホームヘルプサービス拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所の施設改修工事による取得。	4,912,322	3,057,383	1,854,939	○	1,854,939	
	(ホームヘルプサービス拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所の自転車置き場として使用している。	139,310	47,885	91,425	○	91,425	
	(ホームヘルプサービス拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所のメッシュフェンス設置により取得。	154,277	21,210	133,067	○	133,067	
	(ホームヘルプサービス拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所のバイク置き場として使用している。	297,000	36,481	260,519	○	260,519	
	(ホームヘルプサービス拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所の通用口の庇として使用している。	165,000	13,873	151,127	○	151,127	
	(ホームヘルプサービス拠点) 大津市三寺8-D3-101		第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所の施設改修工事による取得。	900,000	49,747	850,253	○	850,253	
	(地域包括支援センター拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		公益事業である、真野地域包括支援センターの施設改修工事による取得。	3,088,203	1,922,070	1,166,133	×		
	(地域包括支援センター拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		公益事業である、真野地域包括支援センターの自転車置き場として使用している。	87,579	30,104	57,475	×		
	(地域包括支援センター拠点) 大津市真野四丁目2番1, 1-8番		公益事業である、真野地域包括支援センターのメッシュフェンス設置により取得。	96,989	13,334	83,655	×		
機械及び装置	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他		加算器	619,500	557,550	61,950	○	61,950	
	(老人福祉センター拠点) 大津市打出浜1-5他1か所		食堂空調設備、薬液注入装置	2,265,066	2,038,560	226,506	○	226,506	
車輦運搬具	日産キャラバン等63台		利用者送迎用、職員移動用	39,383,946	36,008,721	3,375,225	○	3,375,225	
器具及び備品	タンス、パソコン、プリンター他		入居者使用物品、事務用品等	148,249,474	118,956,450	29,293,024	○	29,293,024	
建設仮勘定	(棟原拠点) 大津市真野普門三丁目字穴口1120番地他		空調設備更新工事設計	3,795,000	0	3,795,000	○	3,795,000	
有形リース資産	ヘルストロン5台、送迎車輦3台		老人福祉センターの利用者向け健康器具	29,642,400	14,158,998	15,483,402	○	15,483,402	
	昇降式介助浴槽		介護老人福祉施設の介助浴槽及び送迎車輦				○		
ソフトウェア	コンピュータソフト		介護保険、人事・給与、会計システム等	11,277,060	9,271,967	2,005,093	○	2,005,093	
全事協退職年金引当資産	全国社会福祉事業団協議会		将来における退職年金支給の目的のために積み立てている預け金			42,952,909	×		
本部積立資産	定期預金 滋賀銀行大津市役所出張所		将来における不測の支出に対応する目的のために積み立てている定期預金			1,638,000	×		
施設改築・改修等積立資産	定期預金 滋賀銀行本店営業部		将来の棟原の里の修繕・改築のための目的のために積み立てている定期預金			101,404,788	×		
差入保証金	江若交通(株)		真野地域包括支援センターの土地・建物の買取りにかかる差入保証金			2,250,000	×		
退職手当積立資産	定期預金 滋賀銀行本店営業部		将来における退職慰労金支払いの目的のために積み立てている定期預金			5,565,759	×		
その他の固定資産合計				263,265,904	191,095,611	225,981,749			
固定資産合計				1,665,438,557	910,862,392	911,387,621			
資産合計				1,665,438,557	910,862,392	1,231,233,158			
<b>II 負債の部</b>									
<b>1 流動負債</b>									
短期運営資金借入金						74,999,629			
事業未払金	3月分水道光熱費、給食委託費他		預り金に係る振込手数料						
	ヘルストロン及び送迎車輦の次年度リース料					3,765,360			
1年以内返済予定リース債務	3月分賃金、法定福利費他		法定福利費(本人負担分)他			32,300,836			
未払費用	職員預り金		源泉所得税他			3,903,284			
前受金	前受金		次年度分貸借利用料			754,735			
流動負債合計				0	0	115,735,900			
<b>2 固定負債</b>									
設備資金借入金									
リース債務	ヘルストロン及び送迎車輦の2021年度以降のリース料					12,335,590			
退職給付引当金	本年度末に職員が退職した場合の事業団支払い額					9,821,560			
全事協退職年金引当金	本年度末現在で確定している、将来における退職年金支給額					42,952,909			
固定負債合計				0	0	65,110,059			
負債合計				0	0	180,845,959			
差引純資産				1,665,438,557	910,862,392	1,050,387,199			
							控除対象額計	計画用財産額計	0
							758,502,708		

(入力上の留意事項)

※ 財産目録については、科目を分けた場合は、小計欄を設けるとしていますが、エクセル版の社会福祉充実残額算定シート別添(財産目録)については、小計欄は不要とします